



kanto 151 2024.11.17

## 生成 AI で外国語授業はどう変わるか： 今後の展望と課題

日時・場所

日 時 2024年11月17日（日曜日） 9:30～18:00

会 場 東洋大学 白山キャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

（都営地下鉄三田線「白山」駅、または、東京メトロ南北線「本駒込」駅より徒歩5分）

<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/about/campus/hakusan/access.html>

【注意】

来場には門扉の警備員に対して  
入構証の提示が必要です。  
入構証についての詳細は学会  
ホームページでご確認ください。

参加費（一般会員）1,000円 （非会員）2,000円

\*当日受付にて現金のみの対応となりますので予めご了承ください。

時 程	9:30～	受付開始
	10:00～12:50	研究発表・実践報告・研究支援プログラム成果報告
	12:50～14:20	昼食 / 企業展示・賛助会員ミニプレゼン
	14:20～14:30	開会式・支部賞表彰式
	14:30～16:40	招待発表
	16:50～17:50	シンポジウム
	17:50～18:00	閉会式

主 催 外国語教育メディア学会（LET）関東支部

●事務局●

〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1

関東学院大学建築・環境学部 本沢 彩（モトザワ アヤ）

電話：045-786-7837 E-mail：[kanto-office@j-let.org](mailto:kanto-office@j-let.org)

## 研究発表・実践報告・研究支援プログラム成果報告

開始	終了	受付・展示	7階 125 記念ホール	6階 8601 教室	6階 8602 教室
9:30		受付			
10:00-12:50			<b>研究発表・実践報告</b> 司会 高橋 栄作 (高崎経済大学)	<b>研究支援プログラム成果報告</b> 司会 鬼頭 和也 (国際基督教大学)	<b>研究発表・実践報告</b> 司会 藤永 史尚 (近畿大学)
10:00	10:30	賛助会員 展示  7階 ホール	① 実践報告  手書きテスト自動採点システム の開発と授業での活用に関する 実践報告  石飛 守 (筑波大学附属高等学校)	② 実践報告 ●研究支援プログラム成果報告●  大学生同士の対話を通じたプレ ゼンテーション原稿の改善 —導入部分の変化に注目して—  肥田 和樹 (秀明大学)	③ 研究発表  雑音要因が日本人英語学習 者の聴解度に与える影響  金山 陸貴 (筑波大学大学院生)
10:30	10:35		(休憩)		
10:35	11:05		④ 研究発表  A Study on the Impact of ChatGPT-4o's Socratic Method on Critical Thinking in English Argumentative Essays Among Japanese High School Students  MORO, Yuta (Postgraduate Student, University of Edinburgh)	⑤ 研究発表 ●研究支援プログラム成果報告●  「英語教育と国語教育の連携」に 対する実践者の認識 —英語教員・国語教員にとつての 「意義」とは?—  榎木 貴之 (北海学園大学)	⑥ 実践報告  工学分野の語学と実習を同時 に学べる e-learning 教材の開 発と学習意欲向上の調査  土井 香乙里 (ものつくり大学)
11:05	11:10		(休憩)		
11:10	11:40		⑦ 実践報告  工学部における「生成 AI と音 声技術を融合したオンデマンド 型英語音声教育」の実装と実 践  峯松 信明 (東京大学)	⑧ 研究発表 ●研究支援プログラム成果報告●  入試への英語スピーキングテスト 導入の政策過程 —大学入学共通テストと東京都 立高校入試の比較事例分析—  青田 庄真 (茨城大学) 酒井 秀翔 (東京大学大学院)	⑨ 研究発表  日本人高校 1 年生の名詞句 構造の把握能力の調査  久保 佑輔 (福岡大学) 田中 広宣 (群馬大学)

開始	終了	受付・展示	7階 125 記念ホール	6階 8601 教室	6階 8602 教室
10:00-12:50			<b>研究発表・実践報告</b> 司会 高橋 栄作 (高崎経済大学)	<b>研究支援プログラム成果報告</b> 司会 鬼頭 和也 (国際基督教大学)	<b>研究発表・実践報告</b> 司会 藤永 史尚 (近畿大学)
11:40	11:45	賛助会員 展示  7階 ホール	(休憩)		
11:45	12:15		⑩ 研究発表  音読やシャドーイングなどの音声 課題作成における生成 AI の活 用効果  山内 豊 (創価大学) 峯松 信明 (東京大学)	⑪ 研究発表 ●研究支援プログラム成果報告●  日本語を母語とする初級英語 学習者の後置修飾構造の理解  田中 広宣 (群馬大学)	⑫ 研究発表  中学校の英語授業におけるメタ 認知的指導の実践  浜中 享子 (慶應義塾大学大学院生)
12:15	12:20		(休憩)		
12:20	12:50		⑬ 実践報告  独自 AI の開発と英語暗唱練 習が発信力と学習者の自立性 に与える影響  石村 友二郎 (文京学院大学) 高橋 美由紀 (愛知教育大学)	/	⑭ 研究発表  教職課程の学生の英会話能力 向上を目指した大学英语授業 における多様な学習活動とその 効果  瀧澤 典子 (宇都宮大学)

12:50-14:20	<b>昼食／展示／賛助会員ミニプレゼン (7階ホール受付前)</b>
<p>7階の125 記念ホール前の昼食会場にて賛助会員によるミニプレゼンがございます。            ピザ・サンドウィッチ等の軽食をつまみながら、賛助会員の商品・サービスに触れる機会をお楽しみください。</p> <p style="text-align: right;">賛助ミニプレゼン 司会 本沢 彩 (関東学院大学)</p>	
14:20-14:30	<b>開 会 行 事 (125 記念ホール)</b>
<p>第 151 回 関東支部 2024 年度秋季研究大会 開会の挨拶</p> <p style="text-align: center;">外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部支部長 小野 雄一 (筑波大学)</p> <p>支部賞表彰式</p>	

14:30-16:40	<b>招待発表（125 記念ホール）</b>
<p style="text-align: right;">司会 湯舟 英一（東洋大学）</p> <p>14:30 -15:00 <b>山中 司</b>（立命館大学） 「生成 AI を手に入れることの意味、新しいものや変化に対するマインドとは」</p> <p>15:00 -15:30 <b>谷口 恵子</b>（プチ・レトル株式会社） 「社会人の仕事や英語学習での ChatGPT、AI の具体的な活用法」+ワークショップ (10 分休憩)</p> <p>15:40-16:10 <b>安藤 昇</b>（青山学院中等部、青山学院大学、スタディサプリ講師） 「生成 AI を活用した教育」+ワークショップ</p> <p>16:10-16:40 <b>安河内 哲也</b>（一般財団法人実用英語推進機構代表理事、東進ハイスクール英語科講師） 「生成 AI を活用するための具体的な方法、すぐに使える GPT 英語学習アプリ」+ワークショップ</p>	
16:50-17:50	<b>シンポジウム（125 記念ホール）</b>
<p style="text-align: center;"><b>「生成 AI で外国語授業はどう変わるか：今後の展望と課題」</b></p> <p>講師 山中司、谷口恵子、安藤昇、安河内哲也</p> <p>日本国内から様々な場面での AI の教育利用の第一人者、スペシャリストに集まって頂きました。学習者や教員の目線で、あるいは学校の教室やコーチング、自律学習の観点から、ChatGPT に代表される生成 AI の積極的かつ効果的利用について意見を交換したいと思います。また司会者や参加者からの質問や不安にそれぞれの専門の立場からの意見や示唆を頂く機会も用意しました。</p> <p>この貴重な機会に、多くの皆様の参加をお待ちしております。</p> <p style="text-align: right;">コーディネータ 湯舟 英一（東洋大学）</p>	
17:50-18:00	<b>閉会行事（125 記念ホール）</b>
<p>閉会の挨拶</p> <p style="text-align: center;">外国語教育メディア学会（LET）関東支部副支部長</p> <p style="text-align: right;">奥 聡一郎（関東学院大学）</p>	

## 会員・関係者の皆様

AI 技術、とりわけ生成 AI 技術は、ここ数年で飛躍的に進化を遂げ、私たち教育者や研究者に新たな可能性をもたらしています。特に英語教育においては、学習者個々のニーズに応じたサポートが期待でき、教師と学習者双方にとっての効率化が進んでいます。しかし、その一方で、AI 技術の活用に伴う倫理的な課題や、教育現場での具体的な導入方法については、まだ議論の余地が多い分野でもあります。

本学会では、「生成 AI で外国語授業はどう変わるか：今後の展望と課題」と題し、生成 AI の実際の教育への応用から、未来の可能性、さらには私たち教育者として果たすべき役割に至るまで、幅広いテーマについて議論が交わされることと思います。皆様の貴重な知見や経験が共有され、新たなアイデアや実践が生まれる場となることを心より願っています。

また、生成 AI を用いた教育は単なるツールとしての側面だけでなく、教育の根幹にある「人と人との学び合い」という要素を補完する存在でもあります。本日の議論が、AI の力を借りながらも、学習者の成長や自己発見を支えるための有意義なステップとなることを願っています。

最後になりますが、素晴らしい講演やディスカッションを通して、皆様が新たな発見を得て、実践に活かせる学びを持ち帰られることを期待しています。

外国語教育メディア学会  
関東支部長 小野 雄一